

1 交付申請書（規則様式第1号）

令和〇〇年〇月〇日

例) 東部地域振興事務所長  
 中部総合事務所長  
 西部総合事務所長  
 西部総合事務所日野振興センター長

〇〇〇〇 様

申請書の提出日を記入してください。

各事務所長（センター長）宛として  
 ください。

住所  
 申請者 氏名  
 （団体にあつては、名称及び代表者の氏名） 印

申請する年度を  
 記入してください。

氏名を記名する場合には、押印を省略することができます。  
 押印する場合は、団体の代表者印を押印してください。代表者印が  
 ない団体の場合は、代表者個人の私印でも支障ありません。

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金交付申請書

鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金の交付を受けたいので、鳥取県補助金等交付規則第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

該当する申請区分を記入してください。

補助事業等の名称	鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金 (スタートアップ型 (スタート支援))
算定基準額(見込み)	266,400円
交付申請額	100,000円
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書 (に準ずる書類)

収支予算書（要綱様式第2号（第4条関係））に記載される算定基準額を記入してください。

上記算定基準額（見込み）に各申請区分に応じた補助率を掛けた金額、又は補助限度額のうち、いずれか低い額を記入してください。

実際の申請に当たっては、規則様式第1号に挙げている「1 事業計画書」、「2 収支予算書」以外にも提出が必要な書類がありますので注意してください。※下記【参考：提出書類一覧】のとおり

【参考：提出書類一覧】

区分	書類
共通	1 交付申請書 2 事業計画書 3 収支予算書 4 団体規約 （規約がない場合は、団体の活動目的、活動概要がわかるチラシ・パンフレット、年間計画等） 5 構成員名簿（主要な構成員（10名以内）の氏名及び事業において果たす役割に係るもの） 6 その他申請事業の参考となる資料
スタート支援	事業の新規性に係る調書 ※過去に令和新時代創造県民運動推進補助金（令和元年度以前はトットリズム推進補助金）を受けた団体が申請する場合のみ添付が必要。
ステップアップ支援	1 過去に補助金を受けて実施した取組の概要及び課題（過去に補助金を受けて実施した取組の実績報告書でも可） 2 取組が将来にわたって継続していくための計画書（実施体制、財源確保の方策を記載したもの）

## 2 事業計画書（要綱様式第1－2号）

### (1) 事業の区分

申請する区分の口欄に✓を記入してください。1枚の事業計画書で申請できるのは、1事業のみです。

### (2) 事業の名称

事業内容を端的に表してください。

### (3) 事業の目的

事業実施することで実現しようとするを、解決したい地域課題を踏まえて記載してください。また、本事業が地域や社会に与える効果、住民ニーズ等についても記載してください。（300字程度）

例) 住民が減って活気がなくなった地域を盛り上げ、また将来的には地域に新たな人を呼び込むために、休止していた地域の「桜まつり」を再開する。  
また、桜まつりとあわせてウォーキング大会を実施し、地域住民の健康増進と、地域の魅力の再認識・発信に資する。

【審査の着眼点】「地域課題」「公益性」（別添「審査項目、審査の観点、配点及び加重」を参照）

例) ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合っているか。

・活動内容が地域課題の解決につながるものとなっているか。

・活動内容が地域社会の持続又は地域の住民にとって貢献度が高いか。

・活動が申請者や一部の者の利益でなく、地域社会にとって利益となるものか。

### (4) 実施体制

ア 事業を実効性のあるものにするために、誰が事業を実施するか、どのような関係者と連携を行うか、役割分担を記載してください。

例) ○○地域づくり協議会  
会 長 ○○○○  
副 会 長 ○○○○（イベント実施に関する責任者）  
その他会員 ○○名（役割分担を行い、事前の準備・広報、当日運営にあたる）  
その他、地域の町内会が当日運営の補助を行うとともに、地区青年部、婦人会、子ども会に様々な面で協力いただく予定。

既に組織図等がある場合は、その資料を添付し「別添のとおり」と記載しても構いません。

イ 主要な構成員について、要綱別表2欄に定める基準に抵触していない場合は口欄に✓を記入してください。

【要綱別表2欄に定める基準】

県内に事務所又は活動拠点を有する団体等（非営利公益活動団体（法人格の有無を問わない。）、地域住民組織、個人、企業、商工団体等の各種産業団体及びその青年部組織等）。

以下の者は対象外とする。

ア 政治・宗教・特定の思想の普及に関わる者

イ 暴力団又は暴力団員等の統制下にある者

【審査の着眼点】「地域資源・人材」「顔の見えるネットワーク」「計画の実現性」

例) ・地域資源又は人材の活用により、事業の効果を高めることが期待されるか。

・申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワークを活用する活動になっているか。

・地域住民と連携をしながら行う活動になっているか。

・主体的に取組を行うための体制が整えられているか、または体制整備が確実に見込まれるか。

### (5) 事業内容

事業実施予定日、対象者、参加予定人数、開催場所、事業概要、計画の実現性、事業完了予定日が明確に分かるようにできるだけ具体的に記載してください。

計画から、多少の時期や会場が変更となっても、事業が適切に行われれば支障はありません。

事業計画書や既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

また、申請区分ごとに次の内容についても明確に分かるように記載してください。

区分	記載内容
スタート支援	本事業での新規の取組又は従来からの事業から拡充した部分、新たな工夫を加えた部分
ステップアップ支援	これまでにスタートアップ型補助金を受けた取組の課題や経験を踏まえた新たな工夫、組織基盤の整備や取組の広がりについて

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応を記載してください。（次の例、枠内の最下段※印の太字）

例) 事業実施予定日：〇年〇月～〇月頃 毎週〇曜日  
 対 象 者：〇〇地区住民、〇〇地区近隣住民  
 参加予定人数：〇〇名（各回〇名）  
 開 催 場 所：〇〇公園～〇〇川土手エリア  
 事 業 概 要：・〇〇公園で桜まつりを開催する。（内容：地元飲食店等の出店、フリーマーケット、子ども会のステージイベント等）  
 ・これまでの開催実績については別添チラシを参照。  
 新規の取組：・新たな取組として、〇〇公園近くの〇〇川土手を中心に、地区を巡る〇キロのウォーキングコースを設定し、桜とその他の地区の風景や、あまり知られていない名所を巡って楽しんでいただく。  
 ・コースはマップを作成し、その他の地区内の名所を巡っていただくきっかけとする。  
 ・〇〇公園をゴールとして、完歩された方には老人会手作りの桜の花びらをあしらった参加記念証をプレゼントする。  
 ・また、ウォーキング参加者には「桜まつり」会場で使える割引券を配布し、会場での飲食や、お土産を買って帰っていただくことに繋げる。  
 ・事前に SNS で周知し、アカウントをフォローして参加していただいた方には、地元特産品抽選会への参加資格を付与する。（特産品は地元商店からも協賛提供いただく予定。）  
 計画の実現性：・町内会、地区青年部、婦人会、子ども会等からは協力について内諾いただき、事前説明済み。  
 ・新規の取組となるウォーキング大会については、〇〇地区が毎年開催するマラソン大会の運営委員会にアドバイスを受けながら準備を進める。  
 事業完了予定日：〇年〇月〇日

※ 事業の実施に当たっては、政府又は鳥取県の新型コロナウイルス感染症特設サイトや報道機関等による最新の情報を注視し、各種要請や留意事項を厳守のうえ、要請等に応じた中止、延期又は規模縮小等の対応を行います。

※県内産業の振興のために、補助事業に伴う発注を県内事業者にしていただくようお願いしています。対象経費が委託費の場合で、県内事業者への発注が困難な場合は、その理由を事業内容の欄に記載していただきます。県内事業者への発注が難しい場合は、事前に県まで相談してください。

【審査の着眼点】「公益性」「計画の実現性」「個別項目」

例)・成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、または積極的に情報発信を行う活動である。

- ・計画実施のための具体的なスケジュールが示されている。
- ・個別項目：別添「審査項目、審査の観点、配点及び加重」の該当する個別項目欄を参照ください。

#### (6) 他の補助金等の活用

本事業において活用する予定の他の補助金、助成金等があれば、その名称及び助成元の団体名を記載してください。県の補助金を重複して利用しようとしていないかを確認するのが主な目的ですが、県の補助金以外であっても想定している範囲で記載してください。

例) 〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）30,000円（※申請予定）

#### (7) 過去3年間の活動実績

団体として過去3年間に取り組んだ活動実績（時期及び活動内容）及び令和新時代創造県民運動推進補助金の活用実績を記載してください。

過去3年間の全ての取組を記載いただく必要はありません。年間の活動報告などがある場合は、それを「別紙参照」として添付していただいても構いません。今までの取組を知ることで、申請事業の「計画の実現性」（実績のある団体の方が、実現性は高いと評価されやすくなります）や「個別項目」（過去の事業と比べて、新たな工夫や展開が見られるほうが評価されやすくなります）の参考となります。

過去3年間に取り組んだ活動実績（令和新時代創造県民運動推進補助金（旧トットリズム推進補助金）・他の補助金等の活用がある場合は記載）

令和元年9月 〇〇町農林水産祭への出店（地区特産品の販売。6名の参加） 〇〇事業補助金活用  
 令和2年9月 〇〇町農林水産祭への出店（地区特産品の販売。11名参加） 〇〇事業補助金活用

(8) 関係法令の遵守

関係法令の遵守を確認のうえ、□欄に✓を記入してください。

事業を実施するにあたり、関係法令を遵守していただくための注意喚起です。関係法令等の例は、募集要項を参照してください。

(9) 令和新時代創造県民運動実践団体への登録

令和新時代創造県民運動推進補助金を活用して事業に取り組む団体は、特段の支障がない限り令和新時代創造県民運動実践団体として登録いただき、地域づくりに関する各種情報の収集、発信などにより効果的な地域づくり活動に取り組んでいただくこととしています。

□欄に✓を記入してください。**※既に登録している場合、「登録済」に✓を記入してください。**

令和新時代創造県民運動実践団体に登録することで、自らの団体のイベント情報、ボランティア募集情報、団体情報等を県が運営する令和新時代創造県民運動サイトに掲載し、情報発信することができます。希望すると各種助成金情報、イベント情報等のメルマガ配信も可能です。次の URL 又は QR コードから登録可能です。

【新規登録ページ URL】

[https://reiwashinzidai.pref.tottori.jp/login\\_menu.php](https://reiwashinzidai.pref.tottori.jp/login_menu.php)

(令和新時代創造県民運動サイト→ログインメニュー→新規団体登録)



【新規登録ページ QR コード】

(10) 消費税の取扱い

該当する区分にの□欄に✓を記入してください。

・一般課税事業者

基準期間（前々事業年度）の課税売上高が 1,000 万円を超える事業者

・簡易課税事業者

課税事業者の中で前々年の課税売上高が 5,000 万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者

・免税事業者

基準期間（前々事業年度）の課税売上高が 1,000 万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が 1,000 万円以下の事業者

※国税制度に関する内容については、最寄りの税務署へお問い合わせください。

### 3 収支予算書（要綱様式第2号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

#### 記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第2号（第4条関係）

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
県補助金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型（スタート支援）
自己資金	166,400	一般会計より 11,400円 賛助会費より 155,000円
参加費① （入場料、出展料等）		<b>NPO 法人の賛助会費等、団体及び当該事業への寄付は自己資金となります。</b>
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕		
合計	266,400	

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	ウォーキング大会救護所看護師 3,000円×2名=6,000円
	委託費	ウォーキングマップデザイン料（業者に依頼）
	印刷製本費	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚
	保険料	レクリエーション活動保険料（ウォーキング参加者） 500円×100人
	消耗品費	文房具：6,400円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、参加記念証作成材料費：5,000円、割引券作成材料費：5,000円、屋台食材費：80,000円、特産品購入費：44,000円
	補助対象経費計③	266,400
補助対象外	なし	なし
	補助対象外経費計	0
合計	266,400	

○支出の区分は、募集要項の例を参考にしてください。

○経費について、事前に確認をするか、不足することがないように概算（多めに）で積算をしてください。ただし、明らかに過剰な積算や、事業に必要な又は効果的とは思えない支出が含まれる場合は「補助金の有効活用」の評価に影響します。

○予算額の内訳について説明できるよう、単価や数量をできる限り記載してください。

○委託費については、原則として、県内事業者への発注を要件とします。県外事業者へ発注する際は事前に県へ相談のうえ、理由書を提出してください。

○団体の構成員に対して委託する場合の委託費については、事業に主要な役割を果たす場合に限り、実費相当額を、補助限度額と補助対象経費のいずれか低い額の1/3を上限として対象とする。

○報償費、旅費を支払う場合、合わせて限度額と補助対象経費のいずれか低い額の1/3を上限として対象とします。

○【ステップアップ支援のみ対象】備品購入費（1件5万円以上）については、補助限度額と補助対象経費のいずれか低い額の1/2を上限として対象とする

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 266,400 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③266,400円 - (参加費① + その他の収入②) 0 = 266,400円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

**記載例 2 (参加費、その他の収入がある場合)**

様式第 2 号 (第 4 条関係)

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進事業収支予算書

収入の部

(単位：円)

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型 (スタート支援)
自 己 資 金	11,400	一般会計より 11,400円
参 加 費 ① (入場料、出展料等)	55,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円 出店料 町外 1,000円 ×5件=5,000円
その他の収入 ② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	100,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000円 屋台販売収入 (おこわ：300円×50食=15,000円、山菜そば：400円×50食=20,000円、カレー：300円×50食=15,000円、桜もち：100円×200個=20,000円)
合 計	266,400	

事業実施にあたって見込まれる全ての収入について記載してください。今後申請を予定している他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。実績報告の際、申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があります。実収入額は適切に報告してください。(後日、補助金の返還を求める場合があります。)

支出の部

(単位：円)

区 分	予算額	積算内訳	
補 助 対 象 経 費	謝金	6,000	ウォーキング大会救護所看護師 3,000円×2名=6,000円
	委託費	20,000	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	30,000	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚
	保険料	50,000	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	消耗品費	160,400	文房具：6,400円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、参加記念証作成材料費：5,000円、割引券作成材料費：5,000円、屋台食材費：80,000円、特産品購入費：44,000円
	補助対象経費 計 ③	266,400	
補 助 対 象 外	なし	0	なし
	補助対象外経費 計	0	
合 計	266,400		

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 111,400 円

記載例 2 における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 266,400 円 - (参加費① 55,000 円 + その他の収入② 100,000 円) = 111,400 円

※参加費、その他収入があるので減算します。

**記載例 3 (補助対象外経費ある場合)**

様式第 2 号 (第 4 条関係)

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進事業収支予算書

収入の部

(単位: 円)

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	100,000	令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型 (スタート支援)
自 己 資 金	21,400	一般会計より 21,400円
参 加 費 ① (入場料、出展料等)	55,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円 出店料 町外 1,000円 ×5件=5,000円
その他の収入 ② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	100,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000円 屋台販売収入 (おこわ: 300円×50食=15,000円、山菜そば: 400円×50食=20,000円、カレー: 300円×50食=15,000円、桜もち: 100円×200個=20,000円)
合 計	276,400	

支出の部

(単位: 円)

区 分	予算額	積算内訳	
補 助 対 象 経 費	謝金	6,000	ウォーキング大会救護所看護師 3,000円×2名=6,000円
	委託費	20,000	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	30,000	チラシ A4 コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚
	保険料	50,000	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	消耗品費	160,400	文房具: 6,400円、ウォーキング大会案内看板: 4,000円×5枚=20,000円、参加記念証作成材料費: 5,000円、割引券作成材料費: 5,000円、屋台食材費: 80,000円、特産品購入費: 44,000円
	補助対象経費 計 ③	266,400	
補 助 対 象 外	食糧費	8,000	スタッフ昼食代 800円×10名
	交通費	2,000	スタッフガソリン代相当 2,000円
	補助対象外経費 計	10,000	
合 計	276,400		

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付 (会議の茶菓、懇親会経費など) は対象外ですが、講師に提供するお茶等、必要最低限のものは対象となります。  
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費 (主要な役割に限り実費相当額) を除く。)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 111,400 円

記載例 3 における算定基準額の算出の仕方は、  
補助対象経費③266,400円 - (参加費① + その他の収入②) 155,000 = 111,400円  
※補助対象外経費は含まずに算出します。

<別添> 審査項目、審査の観点、配点及び加重

(1) 審査項目、審査の観点、配点及び加重

項目		観点	配点
1	地域課題	ア. 事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合ったものである。 イ. 活動内容が地域課題の解決につながるものとなっている。 ウ. 活動内容が地域の実情、ニーズに即している。	5点
2	地域資源・人材	ア. 地域に存する固有の資源（特産品、名所、伝統文化等）に着目し、とり入れた活動である。 イ. 地域で既に活躍する、または潜在する人材に着目し、とり入れた活動である。 ウ. 地域資源または人材の活用により、事業の効果を高めることが期待される。	5点
3	顔が見えるネットワーク	ア. 申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワーク（つながり、絆）を活用する活動である。 イ. 活動の効果を一層高めるため、これまでつながりのなかった団体や個人との新たなネットワークを活用する、または生み出す活動である。 ウ. 地域住民と連携をしながら行う活動である。	5点
4	公益性	ア. 活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものである。 イ. 活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものである。 ウ. 成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、または積極的に情報発信を行う活動である。	10点 (5点満点×2倍)
5	計画の実現性	ア. 申請者が主体的に取組みを行うための体制を整えている、または体制整備が確実に見込まれる。 イ. 活動実施のための具体的な場所、手段（ツール）が示され、必要なノウハウが備わった計画となっている。 ウ. 活動実施のための具体的なスケジュールが示されている。	10点 (5点満点×2倍)
6	補助金の有効活用	ア. 活動内容に対して、予算規模が適正な計画となっている。 イ. 活動目的の達成のために適切な支出使途が検討された計画となっている。 ウ. 事業規模にかかわらず、費用対効果が期待される。	10点 (5点満点×2倍)
7	個別項目 スタートアップ型（スタート支援） 新規性	ア. 新たに第一歩を踏み出す活動、従来の取組みから規模を拡大または工夫を加えた活動もしくは衰退・存続の危機に瀕している地域の行事・伝統文化等を再興しようとする活動である。 イ. 活動の開始にあたっての熱意や意欲が申請書類から感じられる。 ウ. 県内での取組みとして独自性（オリジナリティ）または目新しさ（革新性）が感じられる。	15点 (5点満点×3倍)
	スタートアップ型（ステップアップ支援） 成長性	ア. スタートアップ型（スタート支援・継続支援）の事業実施時の課題や経験を活かしたものとなっている。 イ. 今後の活動が充実していくための工夫や組織基盤の整備に取り組んでいる。 ウ. 活動内容が、内容の充実や受益者の増など、今後の発展性が期待できるものとなっている。	15点 (5点満点×3倍)
全7項目、委員1人あたり60点、5人計で300点満点			